



令和6年 1月号  
高崎中学校  
学校栄養職員：亀澤

## 1月のテーマ：「感謝して食べよう」

1月24日～30日は全国学校給食週間です。学校給食の歴史を知り、世界には現在も食事が十分に食べられない人がいることや、日本でもそうした時代があったことを考えてみてください。

そして、感謝の気持ちを持って食事をするようにしましょう。

### 学校給食の始まり



日本の学校給食は、1889（明治22）年、山形県の大督寺<sup>だいとくじ</sup>というお寺の中にあった小学校で、お弁当を持ってこれない子どもたちに食事を用意したことが始まりとされています。

その後、学校給食は、子どもたちの栄養を改善するための方法として国から奨励<sup>しょうれい</sup>され、各地へ広まっていきましたが、戦争による食料不足の影響で実施できなくなってしまいました。

明治 22 年ごろ	大正 12 年ごろ	昭和 17 年ごろ
おにぎり 塩ザケ 漬物	五色ごはん 栄養みそ汁	すいとんのみそ汁

### 支援物資による学校給食の再開

戦争が終わり、子どもたちの栄養状態の悪化が心配されたことから、1946年（昭和21年）に、アメリカのLARA（アジア救援公認団体）から給食用物資の寄贈を受け、翌年1月から学校給食が再開されました。



昭和 22 年ごろ	昭和 27 年ごろ
ミルク（脱脂粉乳） トマトシチュー	コッパン ミルク（脱脂粉乳） 鯨肉の竜田揚げ せん切りキャベツ ジャム

昭和25年に、アメリカから寄贈された小麦粉でパンが作られ、「パン・ミルク・おかず」の完全給食が始まりました。

### 学校給食は教育活動に



1954（昭和29）年に「学校給食法」が公布・施行され、学校給食は教育活動として実施されることになりました。それから、時代の移り変わりとともに、子どもたちの食生活を取り巻く環境は大きく変化し、学校給食の内容も変わっていきました。

昭和 40 年ごろ	昭和 51 年ごろ
ソフトめん ミートソース 牛乳 フライポテト 黄桃	カレーライス 牛乳 塩もみ ゆで卵

昭和30年代後半には脱脂粉乳のミルクが牛乳へと切り替わり、コッパン以外のパンも作られるようになりました。米飯が正式に導入されたのは、昭和51年のことです。